

平成22年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績1

事業者	団体名	愛・やすらぎ川柳 実行委員会	代表者	亀谷 勝彦
	団体の主な活動	愛・やすらぎ川柳を企画運営する。		
事業内容	助成事業名	第3回 愛・やすらぎ川柳		
	事業目的	全国から梨の花言葉「愛・やすらぎ」の川柳を公募・展示することにより、あおや和紙工房、因州和紙、青谷町、鳥取県、二十世紀梨などの情報発信を行い認知度を高め、あおや和紙工房地域の交流人口を増やす。		
	事業の内容	<p>梨の花言葉、「愛」をテーマとした川柳作品を全国から公募し、選考会を開催。応募作品を短冊にしてあおや和紙工房に展示するとともに、入賞作品の表彰を行った。</p> 		
	実施場所	あおや和紙工房	実施日	作品募集 5月10日～7月20日 表彰式 8月8日 作品展示 8月5日～29日
	対象者	全国の川柳愛好家、 鳥取県民	参加人数	作品応募者 1,557人 展示観覧者 1,243人
	事業実施による効果	鳥取県が二十世紀梨の特産地であること、また青谷町が和紙の産地であること、あおや和紙工房という施設が存在することを、全国に発信し認知度を高めるのに効果があった。また、市内の小中学校が積極的に応募してくれ、地域色豊かな事業への理解を得た。		
	今後の活動の展望	3年間の「愛・やすらぎ川柳」開催の実績を基礎に今後も地道に継続することで、当初の目的ばかりでなく地域の文化度向上の役割も果たしていきたい。		
費用	総事業費	294,324円	助成金額	191,000円

平成22年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績2

事業者	団体名	河原を考える会	代表者	岡田 弘
	団体の主な活動	河原昭和まつりの開催		
事業内容	助成事業名	第3回 河原昭和まつり		
	事業目的	みんなで参加して楽しめるイベントを実施し、地域交流から国際交流も視野に入れ、地域文化の伝承と地域ボランティアを実施し、活力ある地域に発展させる。		
	事業の内容	<p>河原昭和まつり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和写真展</li> <li>・昭和の展示(ポスター、電気製品と化粧品、駄菓子玩具の販売)</li> <li>・クラシックカーの展示</li> <li>・フリーマーケット</li> <li>・スタンプラリー</li> <li>・野外コンサート など</li> </ul> 		
	実施場所	河原部落内と各店舗	実施日	平成22年4月29日
	対象者	子供から老人まで	参加人数	400人
	事業実施による効果	河原の商人文化の確認と保存、全体の活力が生まれ縦軸の交流が盛んになった。県内外者に河原周辺を歩いて見学して頂き、古き街並を宣伝と保存の推進につながった。		
	今後の活動の展望	5月中旬に開催時期を変更して部落の方々と交流し、海外(韓国など)と文化交流を広げたい。		
	費用	総事業費	413,000円	助成金額

平成22年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績3

事業者	団体名	子育てサポート すくすくクラブ	代表者	山口 朝子
	団体の主な活動	子ども達の健全育成、そのために子育て中の親たちが楽しく笑顔で過ごせるようにサポート事業(子育てサークル開催、イベント、一時保育)を企画実施している		
事業内容	助成事業名	子育てまちなかセミナー		
	事業目的	子育て中の保護者が平日外出することが少なく、閉塞感とストレスを感じている方が多い。その方たちへ癒しとなり、子育てへの活力の一助となる。また、事業を通して親睦を図り、その後の交流へのきっかけとなる。まちなかでの実施により、普段は郊外店に行くことの多い若い母たちを呼ぶことで、中心市街地の活性化の一助となる。		
	事業の内容	<p>保護者に対し、アロマストレッチやベビーサイン、ベビーマッサージの講座を開き、受講後は子育て座談会を行った。その間、子ども達は保育者と託児室で過ごし、手遊び、絵本などを通じて子ども達の育ちの助けとなる保育を実施した。</p> 		
	実施場所	本通り商店街 すペース Comodo	実施日	平成22年9月20、 22、24、27日 10月4日
	対象者	子育て中の保護者と乳幼児	参加人数	各階20組40人 延べ200人
	事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者のリフレッシュによって子どもの養育環境の改善</li> <li>・子育て支援と商店街との異種交流により、双方の理解が得られ、今後の「子育てにやさしいまちづくり」につながる</li> <li>・子育て中の親も、手を繋ぎながら各店舗の店先を歩くことで、スーパーでは得られない情緒を感じられる。</li> </ul>		
	今後の活動の展望	保護者のリフレッシュによって子どもへの養育環境の改善が実感できた。また、癒しだけでなく子育て後を見据えて就労支援事業も展開していきたい。		
費用	総事業費	300,140円	助成金額	200,000円

平成22年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績4

事業者	団体名	社団法人 ハーモニカレッジ	代表者	理事長 石井 博史
	団体の主な活動	この法人は馬とのつき合いを中心とする青少年活動を行い、青少年の健全育成をすることを目的とする。		
事業内容	助成事業名	子どもの心の根っこを育てるポニークラブ事業2		
	事業目的	異年齢の子ども達が自然を相手に集団で遊び、お互いを知り、お互いの違いを尊重し合う知恵を学んでいく場を提供していく。 「ホンモノ体験」によって子どもに備わる冒険心やいやりの心の回路に「電流」を流し、たくましく、思いやりのある子どもを育てることが、「子ども」を守り、青少年問題を防止していくことにもなる。 NPO法人十人十色との協働により賛同する保護者の輪を広げていく。		
	事業の内容	<p>平成22年4月 募集 説明会の開催 体験デーの開催。 ポニークラブスタート。乗馬練習、馬の世話、軽乗等。 5～7月 乗馬練習、馬の世話、軽乗、川遊び、夕涼み会等。 9月～12月 乗馬練習、馬の世話、軽乗、外乗、クリスマス会等。 1月～3月 乗馬練習、馬の世話、軽乗、外乗、卒業を祝う会等。</p> 		
	実施場所	空山ポニー牧場	実施日	平成22年4月～ 平成23年3月で54回
	対象者	小中学生	参加人数	各回39人 延べ2106人
	事業実施による効果	子ども達の愛馬精神、自然を愛する精神、相手を理解する力、思いやり、たくましさ等が馬の世話、乗馬練習をする中で育った。 NPO法人十人十色との協働により、いろいろな子ども達の参加が広がり、楽しさと共に深いのちの世界のキビシサの中の試練や困難を、いろいろな仲間と共通体験していくことで、自信、忍耐力、先輩後輩関係、健常者・障害者にとらわれないバリアフリーな人間観、豊かな人間関係が育った。		
	今後の活動の展望	今後も馬をかわいがり、世話をし、気合いを入れて練習をする中で理屈を越えた充実感を味わい、相手を理解する力、思いやり、たくましさ等が育つポニークラブ活動を継続していく。		
費用	総事業費	3, 291, 445円	助成金額	200, 000円

平成22年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績5

事業者	団体名	多言語国際交流サポート TIA	代表者	寺杣 すみれ
	団体の主な活動	在住外国人へ生活情報の提供、通訳サポートなどを日常生活に係る支援活動 ・とっとり市報ダイジェスト版(英・中国語)記事作成 ・国際交流イベントの実施 ・母子健診、学校行事などの通訳サポート ・日本語指導などニーズに応じた生活サポート		
事業内容	助成事業名	在住外国人と子供たちとの交流イベント		
	事業目的	鳥取県東部地区に住む子供たちと在住外国人の子供たち、その保護者の方々が地域、校区を越えた触れ合いの中からコミュニケーションの大切さと国際理解を深めること。		
	事業の内容	世界を知ろう！ふれあいテント村2010 1. 世界各国料理や飲み物を各ブースで紹介 2. 歴史、文化、料理の作り方をその国の言語で説明 3. それぞれの国の言葉クイズや工作などを披露 4. 6カ国のブースを回るスタンプラリー 5. 参加者全員による歌とクイズ		
				
	実施場所	鳥取ガスショールーム サルーテ	実施日	平成22年10月16日
	対象者	小学生及び就学時前児童 、その保護者	参加人数	150人
	事業実施による効果	2年間にわたり同様のイベントを行い、毎年100名を越える参加者に恵まれ、今年はその集大成として6カ国のブースを備え各国の文化や伝統料理を紹介しました。鳥取に住む外国の方々と市民が触れ合う場所が少ない中、多くの来場者に喜んで頂きました。		
	今後の活動の展望	・子供たちの国際理解の芽生え ・在住外国人と鳥取市民との触れ合い ・異文化や外国語に触れコミュニケーションの楽しさを味わう		
費用	総事業費	128,846円	助成金額	100,000円

平成22年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績6

事業者	団体名	特定非営利活動法人 とっとりフィルムコミッション	代表者	理事長 清水 増夫
	団体の主な活動	映像が文化的な意味を持つことに重視し、映画、テレビドラマなどの映像ロケーションの誘致及び支援、映画の自主上映を行い、文化振興、観光振興、経済効果を促し、地域の活性化に寄与することを目的とする。		
事業内容	助成事業名	西河克己メモリアル～青春映画の巨匠		
	事業目的	1. 市民に自主上映活動の必要性を認識してもらうため。鳥取市には映画館が1館しかなく、多彩な映画作品を見る機会が少ない。 2. 映画人と文化交流するため。倉吉出身の映画監督、小谷承靖さんから、西河監督の話を聞く。		
	事業の内容	<p>ビデオ「故西河克己監督を偲ぶ会」 トークショー「西河監督と青春映画」 ゲスト:小谷承靖さん 映画「若い人」上映</p> 		
	実施場所	とっとり県立図書館 大研修室	実施日	平成22年9月26日
	対象者	一般市民	参加人数	120人
	事業実施による効果	鳥取県出身の故西河克己監督は生涯に映画を64本監督しています。私たちは西河監督のことや監督が撮った映画をもっと郷土の人に知ってもらいたいと願っています。西河克己メモリアルで、トークショーでは西河監督のことがよくわかったし、映画「若い人」では西河監督の文芸作品を鑑賞することができました。今後とも西河監督の遺産である映画を、この鳥取市で上映していきたいと思っています。		
	今後の活動の展望	今後もロケ地の誘致及び支援を主に行い、平成22年12月、40周年を迎えた自主映画活動も確実に進めていくこととしています。		
	費用	総事業費	132,597円	助成金額

平成22年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績7

事業者	団体名	鳥取おやこ劇場	代表者	奥谷 仁美
	団体の主な活動	年5回の鑑賞例会(プロによる音楽、演劇、人形劇などの舞台作品)、キャンプ、講演会、バザー、機関紙年5回発行		
事業内容	助成事業名	ポニートレッキング、デイキャンプ事業		
	事業目的	近年、電子ゲームやインターネット、メールなどの急速な普及により仮想世界に夢中になり、人とのコミュニケーション能力の低下が危惧されている。動植物に触れ、五感をフルに使った自然体験をして存分に楽しさを味わってもらいたい。		
	事業の内容	<p>①ポニートレッキング(乗馬トレッキング、野外ゲーム遊び) ②デイキャンプ(やまめつかみ、野外調理、野外ゲーム遊び) ※ボランティアスタッフとして「ポレポレキッズ」の大学生も参加</p> 		
	実施場所	①青島公園 ②安徳の里 姫路公園(八頭町)	実施日	①平成22年6月20日 ②平成22年10月3日
	対象者	幼児・小学生・中学生とその保護者	参加人数	①33人、②64人 延べ97人
	事業実施による効果	<p>ポニートレッキングでは、自然の中、ハーモニカレッジカウンセラーの指導のもと、ポニーに乗って島を一周したり、ポレポレキッズのリーダーたちと思いっきり体を使って遊べた。</p> <p>デイキャンプでは、川に入ってやまめのつかみ取りを体験した後、やまめの塩焼き、飯盒炊飯、豚汁作りをポレポレキッズのリーダーや大人たちと一緒に体験した。やまめを触るのも初めての子ども、飯盒炊飯も初めての子どもも多く、貴重な体験となった。</p>		
	今後の活動の展望	<p>ポニートレッキングは2回目の参加希望者が多く、すぐに定員に達した。デイキャンプも初めての企画だったが、参加希望者が多く、定員をオーバーした。終了後もまた行きたいという声も多く聞かれた。幼児～中学生までの異年齢の子どもたちが、一緒に活動したり、遊んだりできた。どちらの参加者にも大変好評な企画だったので、今後も自然体験できる機会を企画する意義を感じた。</p>		
	費用	総事業費	177,156円	助成金額

平成22年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績8

事業者	団体名	雛がたり実行委員会	代表者	八百谷和子
	団体の主な活動	新しい文化・朗読で用瀬町の流しびな行事を盛り上げるため、毎年3月3日に流しびなの館・ふれあいホールで、朗読会「雛がたり」を開催し続けてきた。		
事業内容	助成事業名	お雛様エッセイ&絵てがみコンクール		
	事業目的	世界中で日本だけにしかない雛文化。グローバル社会の中では、日本固有の文化が埋没しようとしている。そんな現在においてコンクールを開催することで、あらためて雛文化への関心を喚起し伝統文化の大切さを認識していただき、手紙文化を広げることで、流しびな行事を全国へ発信したい。		
	事業の内容	お雛様や雛まつりに関する作文・エッセイや絵てがみを全国から募集し、審査委員会を経て各賞を選定。助成の対象期間外となるが、旧暦の雛祭りに表彰式も開催する。審査委員会、賞授与、副賞提供などは鳥取市教育委員会、日本海新聞、郵便事業株式会社、他による協力を得て行う。		
	実施場所	流しびなの館	実施日	募集：平成22年12月1日 ～2月7日 審査委員会：2月12日 審査結果公表：3月3日
	対象者	全国の公募愛好者 朗読愛好者、鳥取県民	参加人数	応募作品1,257通 (エッセイ234通、絵てがみ1,023通) 表彰式参加者 120人
	事業実施による効果	北は北海道から南は大分県まで広く作品を募集していただき、用瀬の流しびな行事をアピールすることができた。また3月末に、このコンクールを紹介するためにHPを作成、現在も受賞者とお雛様を通じて交流が続いている。 また、鳥取市内の様々な方々と広く協働することで、副賞も豪華な盛大なコンクールにできた。協働した事により、客観的に実行委員会活動を評価することができ、メンバーの士気も高まった。10年間の「雛がたり」の評価ができた。		
費用	総事業費	320,247円	助成金額	200,000円



平成22年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績9

事業者	団体名	ひょうたん島実行委員会	代表者	竹内 房男
	団体の主な活動	自然と歴史と文化を尊重し、将来に亘ってこの美しい湖山池と周辺の恵まれた自然を子孫に伝えていくため、イベントびっくりひょうたん島を行う。		
事業内容	助成事業名	湖山池環境視察の船着場整備事業		
	事業目的	湖山池を多くの人に開放し、県民固有の財産として育てていく。		
	事業の内容	<p>旧栈橋撤去、鋼管杭打ち作業、角材取り付け・組み込み、手すり・床の設置、塗装・仕上げ作業</p> 		
	実施場所	湖山池青島大橋横	実施日	平成22年6月1日 ～平成23年3月30日
	対象者	作業実施者12名	参加人数	延べ48人
	事業実施による効果	県・市の視察や調査、又ジオパーク見学会等多くの方が利用される。		
	今後の活動の展望	湖山池は山陰海岸ジオパークにも含まれていて、湖山池情報プラザ共々各方面より期待されている。		
	費用	総事業費	128,000円	助成金額

平成22年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績10

事業者	団体名	みんな がっこう 地域の楽校づくりの会	代表者	中山 勝廣
	団体の主な活動	<p>平成12年完成の散岐小学校改築に支援頂いた校区住民や町内関係者への感謝の気持ちを忘れず、校区のシンボル・心の寄りどころである小学校を拠点とした地域づくり、子供から高齢者まで幅広く校区住民の集いの場となるための活動を展開することを目的として、改築に関わったPTA役員が中心になって発足した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間4～5回程度の集い・催しを開催</li> <li>・地域の資源(自然、人材等)を生かした自然体験・関連活動</li> <li>・地域住民と児童とのふれあい活動</li> </ul>		
事業内容	助成事業名	みんな がっこう 平成22年度地域の楽校づくりの会事業		
	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童等を対象とした、地域の資源(自然、人材等)を活かした自然体験・関連活動</li> <li>・幅広く校区住民を対象とした集い、児童と地域住民・高齢者との交流</li> <li>・小学校を拠点とした会員、地区公民館、小学校等との協働・連携した活動の継続</li> </ul>		
	事業の内容	<p>①第1回活動: 笹まきづくり、みんなでチャレンジ                  ②第2回活動: 魚とりと川遊び体験                  ③第3回活動: 「10周年感謝の集い」                  人形劇、ミニコンサート、柿の種飛ばし大会、料理教室                  ④第4回活動: もちつき、昔の遊び</p> 		
	実施場所	散岐小学校 、校区内	実施日	①平成22年6月19日 ②8月21日 ③11月27日 ④平成23年2月19日
	対象者	児童、地区住民	参加人数	延べ400人
	事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の自然、人材、文化等の地域資源を知り、ふるさとを誇りに思う心の醸成</li> <li>・会員と地域住民との協働意識の高揚による地域活動力の継続</li> <li>・小学校・児童と地域住民との交流の促進</li> <li>・まちづくり(協議会)活動への発展</li> </ul>		
費用	総事業費	228,648円	助成金額	182,000円